

# 宿縁

五月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号  
浄土真宗  
本願寺派

## 中原寺

TEL 0477-372102  
FAX 0477-372102

さようならの

人生でいいのですか



時折、有名観光寺院などで「秘仏の特別拝観」とか「何年に一度の御開帳」とかいうのがあって人びとの関心を集めることがあります。たしかにそうした仏像を拝観することで、心があらたかになったり手を合わせる行為につながるのはいよいものです。

考えてみると今の日本人は一生涯仏さまを拝まず、手を合わせることもせずにいるのち終る人が多いのですから…  
さて、次の親鸞聖人のお言葉（和讃）をいただいでまいりましょう。

南無阿弥陀仏の回向（えこう）の  
恩徳広大（こうだい）不思議にて  
往相（おうそう）回向の利益には  
還相（げんそう）回向に回入せり

「阿弥陀如来から回向（功德を生きたし生けるものすべてにふり向けること）された名号（みようごう）＝南無阿弥陀仏＝のご恩は広大で人間の思いや言葉に尽くせない不思議であり、私が浄土に往生して仏と成った利益（りやく）として、この迷いの世界にめぐり還り来て他の人のための救いにつくすのです。」

この親鸞さまのお言葉が真の仏教というものです。それは次の言葉にもはっきりと顕されています。

「つつしんで、浄土真宗すなわち浄土真実の法をうかがうと、如来より二種の相（すがた）が回向されるのである。一つには、私たちが浄土に往生し成仏するという往相が回向されるのであり、二つには、さらに迷いの世界に還って衆生を救うという還相が回向されるのである。」

（教行信証教巻）

ここで間違っはならないのは、浄土真宗とは仏教の一派ではありません。釈尊が覚られた真実の法、つまり仏教とは、ということ。仏に成るといふことは迷い

に沈む衆生への救済が同時に行われるといふのです。これを往相・還相といひます。

その二つのはたらきを得るについては人間の力で得られるものではなく、あくまでも如来さまの私たちにはたらく救済活動一つによるものなのです。それを本願力回向（ほんがんにきえこう）と申します。それはどのようなにして私たちに届けられているのかという名号（みようごう）＝南無阿弥陀仏＝ということばとなつてきています。南無阿弥陀仏は阿弥陀さまの名前ですが、その内に如来さま自身がましますのです。名もなく姿なき如来が姿をとられたのが、南無阿弥陀仏の名号です。名前というのは実に不思議であつて、形のないものが形をとつているのが名前なのです。仏像や絵像もやはり形のないものを形にしていますが、仏像よりも名号の方が尊いのだと、親鸞さまは申されます。

仏像と名号は、同じようで違います。それは、仏像というものは人間が作ったものです。尊い如来さまのお慈悲を、人間の仏師が芸術的に表現したのですから、これはどこか間接的なところがあります。如来を表現しているといつても、如来自身が直接に現れているものではなくて、人間の手を通して間接的に出現されているわけです。南無阿弥陀仏という名号はそうではなくて、如来さまの方から出現されたお姿であつて、直接的です。これは言葉という存在の計り知れない不思議をいつているのです。南無阿弥陀仏の名号は、如来の方から私たちへ来ている回向なのです。

その回向の恩徳は広大不思議であつて、人間の知性の思いを超えているといふのです。南無阿弥陀仏の名号は往相回向だけではな

くて、還相回向のはたらきも持つていふので、お浄土へ生まれた人はそれで終わりかといふと、そうではなて、お浄土からこの世へ還つて衆生を救済するはたらきもする。両方とも、南無阿弥陀仏のなかに込められて与えられてあるのです。そうしたら、南無阿弥陀仏を称える人は、往相回向の利益だけではなくて、還相回向の利益というものを同時にいただいでいるということになります。これは二つの回向が初めから切り離せないということ。す。

よくわからないといふのは世間（人間）の尺度でどこまでも納得しようとするからです。仏さまの言葉はそのまま聞かせていただくしかないのです。そのまま聞かせていただくといふことは、聴聞によつて仏さまの世界の心を育てていただくしかありません。

そうでないといふと絶えず人間の妄念・妄想に閉じ込められるしかありません。どんなにわかつたつもりでも「さようならの人生」しかありません。そんな人生を今歩いているとしたら不幸な寂しい人生といわざるを得ません。私という体を見ているからこの世に生まれて死んで骨になつて墓場に行くしかないのです。

前に浄土に生れるものは後のものを導き、後に生れるものは前のものあとを尋ね、果てしなくつらなつて途切れることのない仏のいのちを得させていただくのが仏教です。

【寺灯雑記】

○大勢の子どもと親とで「花まつり」

4/1

本堂前の枝垂桜が満開に咲き誇るもどで「釈尊降誕会」(花まつり)が賑やかに催されました。

例年の如くに参加の子どもたちから代表の5人が本堂内の花御堂に献灯、献花、献香を行い、みんなで「十二禮」(らいはいのうた)のお経をお勤めました。

そして、一、み仏の教えを聞くものは、なかよく、やさしく、礼儀正しく。二、くるしみも、かなしみも、よろこびも分け合い。三、心にあたたかさを、ことばに美しさを、たいどに明るさを持つとう。と三つのやくそくを仏さまの前で誓いました。

住職さんからお話を聞いたのち、花御堂の誕生仏に甘茶をかけてから聞法会館に移動しました。

会場では、子育てサロン「パンダっ子」でご縁のあった方が中心にピアノ、フルート奏者が集まった「花まつりコンサート」が始まりました。そして演奏を聞き、みんなが耳にしている「春のうた」や「花は咲く」など会場が一つになって楽しい集いが演出されました。

また晴天の下、境内にしつらえた餅つき会場では、婦人会や壮年会の応援で餅つきがあり、つきあがったお餅を食べながら親子の賑やかな会話が弾みました。

今年の花まつりは、昨年夏から始まった「子育てサロン」を通しての参加者もあり、大勢で釈尊降誕会をお祝いすることができました。

○入門式を受けて門徒のお仲間入り

4/22

入門式には左記の6名の方々が出席され、仏前で新たに当寺門徒としての誓いをされました。

そして受式者一人一人には前住職より「門徒式章」、「経本」、「必携み教えと歩む」をいただき、続いては、仏法聴聞の道こそ真の充実した人生が開かれる、との法話をうかがって浄土真宗門徒として第一歩をスタートいたしました。

\*井手楨介さま 市川市田尻

\*井出俊之さま 市川市市川

\*嶋田稔さま 市川市柏井

\*津川利子さま 東京都葛飾区

\*中原英三郎さま 市川市南八幡

\*若田康代さま 市川市国府台

よろしくお願いします。

○第二回門信徒会役員会を開く

4/22

本年度第2回の定例門信徒会役員会が常例法座のあと、14名が出席して開かれました。

おもな議題では、この6月3日〜4日に実施される門徒親睦旅行の件、7月29日に実施される門信徒ファミリーパーティーの名称や催し物の内容等について協議されました。

ファミリーパーティーの第1部では落語に真打三遊亭歌奴さんが内定、また音楽会ではコーラス、演奏等で先日の花まつりに出演いただいたグループに依頼する方向で準備を進めることになりました。

【ご旧跡参拝旅行参加募集中!】

☆越後七不思議と無為信寺参拝の旅

\*期日:六月三日(日)〜四日(月)

「月岡温泉一泊二日」

・旅程:市川駅前発〜東北道・磐越道〜梅護寺(八房の梅不思議)〜ホテル泉慶泊

無為信寺参拝(親鸞聖人二十四輩無為信開基)〜関越道〜市川駅前

・全行程大型観光バス

・旅行代金:32,000円

・募集人員:40名

5月20日までに代金を添えてお申込み下さい。

今回は親鸞聖人が越後ご流罪になった時期にまつわる七不思議や門弟二十四輩の一人無為信房開基の由緒寺院に参拝し700年前の往時をたどります。

実り多く和やかでとても楽しい門徒親睦旅行にお誘いあわせご参加をお待ちしています。

【法要・法座・行事案内】

◇宗祖降誕会並びに永代経法要

日時:五月二十日(日)

・親鸞聖人降誕会法要(讃仏偈) 十一時

引き続き法話 正午

・昼食(おとぎ) 一時

・門信徒総永代経法要(正信偈) 一時

引き続き法話

講師 ケネス田中師

(武蔵野大学名誉教授 国際真宗学会会長)

講題 「親鸞聖人の人間らしさと慈悲のご縁の気づき」

○お仏具磨き・清掃奉仕 五月五日(土) 十時

○婦人会趣味講座 (折り紙で作る金魚のモビール) 五月五日(土) 一時

○ファミリーパーティー実行委員会 五月五日(土) 三時半

○グラウンドゴルフ 五月九日(水) プレー場所 立身台公園

参加者は正午にお寺へ集合ください

○子育てサロン(パンダっ子) 五月十四日(月) 十一時〜二時

○いのちの居場所を考える会 五月二十二日(火) 十時

○和讃に学ぶ(正像末和讃) 前任職 五月二十六日(土) 三時

○婦人会法座(七高僧を学ぶ) 前任職 六月二日(土) 一時

○みのり会公開講座(千葉組仏婦連盟) 六月十二日(火) 十時半

会場:千葉市教育会館大ホール

・落語 笑福亭仁智師(親鸞聖人)

・講演 種村健二朗医師

「終末を普段と同じように笑顔で生きる」

【五月の掲示板のことは】

どう生きるかではなく

なぜ生きるのかを問え